

令和 5 年度第 1 回

龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課
(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

目次

- ◇議案第1号
令和5年度歴史民俗資料館事業報告について …………… p3

- ◇議案第2号
令和6年度歴史民俗資料館事業計画(案)について …………… p12

- ◇議案第3号
中期事業計画の進捗状況について …………… p17

別紙1 龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(令和元年度～令和5年度)

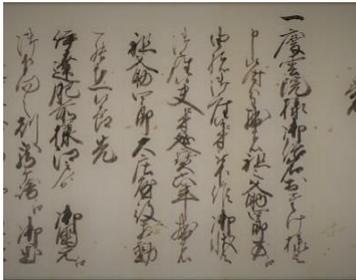
別紙2 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

1 常設展示及び企画展・収藏品展の開催

(1) 常設展示			
展示期間	令和5年4月1日(土)～令和5年12月27日(水)		
日数	227日	入館者数	13,238人
展示場所	常設展示室、エントランス、屋外		
内容	<p>龍ヶ崎の歴史と民俗をテーマに時系列的に関連資料を展示。</p> <p>エントランスには、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」のジオラマと視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。屋外には、市指定文化財4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稻栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。</p>		
 <p>撞舞 1/4 ジオラマ</p>			
(2) ボランティア作品展「布れあい染織展」			
開催期間	4月18日(火)～5月7日(日)		
日数	20日	入館者数	1,066人
開催場所	企画展示室		
内容	<p>体験学習等で協働している資料館ボランティアと共催で、染色や機織りの活動成果(作品等)を展示した。</p>		
 <p>染料の日本茜と作品</p>			
(3) 松田正平と川北英司の作品展			
開催期間	5月27日(土)～6月25日(日)		
日数	26日	入館者数	1,346人
開催場所	企画展示室		
内容	<p>当市出身の洋画家・川北英司の作品 9 点が遺族から寄贈された。これに遺族が所蔵する作品と生前交流のあった日本芸術大賞を受賞した松田正平の作品を借用して展示した。</p>		
 <p>松田正平の作品</p>			
(4) 長崎原爆写真パネル展			
開催期間	7月1日(土)～7月17日(月)		
日数	15日	入館者数	671人
開催場所	企画展示室		
内容	<p>戦争の悲惨さを次世代に伝え、平和に対する意識の高揚を目的に長崎原爆資料館から借用した写真パネルを展示した。会場内には長崎原爆資料館への中学生派遣の際に持参するための折り鶴を折るスペースを設けた。</p> <p>共催：人事行政課</p>		
 <p>パネル展の風景</p>			

(5)100年前のペンギンと南極探検				 <p>Q&A 式のパネルとペンギン剥製</p>
開催期間	7月29日(土)～8月25日(金)			
日数	24日	入館者数	1,544人	
開催場所	エントランス			
内容	流通経済大学三宅雪嶺記念資料館の出張展示に協力。明治43年の南極探検の成果品であるアデリーペンギンの剥製と南極観測と環境問題のQ&A 式のパネルを展示した。			
(6) 馬場台第2・八幡作遺跡発掘調査遺物展				 <p>馬場台第2・SI06 出土遺物</p>
開催期間	8月1日(日)～9月3日(日)			
日数	30日	入館者数	1,965人	
開催場所	企画展示室			
内容	令和4年(2022)、市内若柴町で発掘調査を行った遺跡から出土した土器等や遺構の写真を展示し、埋蔵文化財への理解を深めた。			
(7) 絹本著色十六羅漢像複製公開展				 <p>羅漢像の見学風景</p>
開催期間	9月23日(土)～10月22日(日)			
日数	26日	入館者数	1,455人	
開催場所	企画展示室			
内容	平成29年(2017)から4年をかけて作成した国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」(金龍寺所蔵・県立歴史館寄託)の複製を展示し、文化財への理解を深めた。			
(8) 郷土作家展「永井正」展				 <p>フォトコンテスト受賞作品と本人</p>
開催期間	10月28日(土)～11月12日(日)			
日数	14日	入館者数	1,675人	
開催場所	企画展示室、多目的室			
内容	郵便局の切手に作品が採用されたこともある市内在住の写真家、永井正氏のオーロラや野鳥を題材とした風景写真を展示した。共催：市民文化芸術フェスティバル運営委員会			
(9) 収蔵品展「むかしの学校」(予定)				 <p>「北文間校」銘の算盤</p>
開催期間	1月16日(火)～3月24日(日)			
日数	32日	入館者数	—	
開催場所	企画展示室			
内容	古い道具と昔のくらし学習支援事業として、1月からの見学学習にあわせて、明治から昭和にかけて小学校で使用した教科書や学校用品を展示する。			

2 普及事業の実施

(1) 古文書講座 ①上級コース「近世古文書を読む」 ②初級コース「はじめての古文書」	
開催回数	① 上級コース ② 初級コース(各8回)
開催場所	多目的室
受講者数	①20名 ②23名
講師	①盛本昌広氏(市文化財保護審議会委員) ②龍ヶ崎市古文書同好会員
内容	6月から2月までに各コースを8回。第1日曜に初級、第2日曜に上級を開講した。 ①覚「祖々父助四郎由緒」(師岡家文書)等 ②「御仕置御条目五人組帳」(山崎家文書)等
	 覚「祖々父助四郎由緒」
(2) 歴史散歩	
開催日	①4月22日(日) ②5月14日(日) ③10月7日(土)
参加者数	①24名 ②20名 ③21名
内容	郷土を再発見する目的で、市内の旧所名跡沿いにコースを設定し、周辺の遺跡、寺社等を見学しながら歴史的背景を解説した。 ①中心市街地西部の和菓子屋と寺社等を散策 共催:市民活動センター ②市東部の長峰・半田地域を散策。 共催:駒馬台コミュニティセンター ③市南西部の旧小貝川周辺の河岸跡等を散策 共催:市民活動センター
	 半田町満願寺のお化け地蔵前
(3) れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日
開催場所	多目的室
内容	小学生と保護者等を対象に「まんが日本昔ばなし」を上映した。
(4) 駄菓子屋〔中止〕	
開催日	10月
開催場所	屋外展示場
内容	ふれ愛広場の開催に合わせて、屋外の建物で縁日的な駄菓子屋を開催する予定であったが、ボランティア団体の協力が得られなかったことから中止した。
(5) 撞舞コスプレ体験	
開催日	①7月21日(金) ②7月22日(土) ③7月23日(日)
開催場所	エントランスホール
参加者数	①10名 ②10名 ③7名
内容	文化財である撞舞への理解を深めていただく機会として、寄贈された子どもサイズの舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら、舞男の気分を楽しんでいただいた。
	 舞男のポーズ

(6) 8mm フィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会		
開催日	①8月5日(土) ②9月2日(土) ③10月7日(土)	 <p>土岐公出陣武者行列の映像</p>
開催場所	多目的室	
参加者数	①11名、②17名、③10名	
内容	市民協働事業の「映像アーカイブによる街づくり」で集めた8mmフィルムの活用として、デジタル化して編集したDVDを上映した。	
(7) 郷土史講演会		
① 家康家臣の戦と日常 ―松平家忠日記をよむ―		
開催日	5月21日(日)	 <p>角川ソフィア文庫の表紙より</p>
開催場所	多目的室	
受講者数	33名	
講師	盛本昌広氏(市文化財保護審議会委員)	
内容	NHK大河ドラマ『どうする家康』の放映に合わせて、徳川家康の家臣松平家忠が毎日つけた日記を読み解いた研究書の執筆者に講演して頂いた。	
② 俺流に読む常陸国風土記Ⅱ～Ⅳ		
開催日	①6月24日(日) ②8月26日(土) ③11月25日(土)	
開催場所	多目的室	
受講者数	①33名 ②30名 ③16名	
講師	須藤 研氏(東京大学生産技術研究所名誉教授)	
内容	『常陸国風土記』について、前年の総記に続いて、「新治・筑波」「信太」「茨城」の各郡について、様々な角度から独自の見解をお話しいただいた。	 <p>講演風景</p>

3 体験学習教室の実施

(1) わら草履作り教室		
開催日	①8月18日(金) ②19日(土)	 <p>草履の制作風景</p>
開催場所	体験学習室、屋外	
参加者数	①10名 ②4名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	現在は触れることが少ない「わら」を用い、先人の知恵と製作技術を伝承した。	

(2) 注連飾り作り教室		
開催日	①12月8日(金) ②12月9日(土)	
開催場所	体験学習室、屋外	 <p>完成したしめ飾り</p>
参加者数	①6名 ②4名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承した。	
(3) 草木染め教室		
開催日	①5月23(火)と24(水) ②8月3日(木) ③11月14日(火)	
開催場所	体験学習室、屋外	 <p>③栗のイガで染めたエコバッグ</p>
参加者数	①7名 ②7名 ③8名	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	日本の伝統的な染めの技法を伝承し、身近にある植物で行った。 ①春は2日間の工程で、桜の枝を材料に木綿のストールを2色。 ②夏は、資料館の畑で栽培した藍の生葉を材料に絹のストールを染色。 ③秋は、栗のイガを材料に木綿のエコバッグを染色。	
(4) 機織り伝承教室		
開催日	毎週火曜・木曜日	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
講師	資料館ボランティア	
対象者	資料館ボランティアの希望者	
内容	高機を活用して機織りの技術を習得し、その技術を伝承した。また、館内で実演を行った。	
(5) 簡単機織り教室		
開催日	①8月16日(水) ②8月22日(火)	
開催場所	体験学習室	 <p>卓上機織り機</p>
参加者数	①6名 ②5名	
講師	資料館ボランティア	
内容	卓上の機織り機を用いて、不要になった布から新しく織物を織る「裂き織」を体験し、布のリサイクル方法を伝承した。	
(6) 機織り教室		
開催日	3月(8回予定)	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
募集人数	各回3名	
講師	資料館ボランティア	
内容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、製作技術の一端を伝承した。	

(7) 折り紙教室	
開催日	①6月30日(金) ②11月30日(木) ③3月28日(予定)
開催場所	多目的室
参加者数	①7名 ②8名 ③8名(予定)
講師	木村峰子氏
内容	季節に合わせて干支や年中行事等をテーマに、装飾性のある作品を折り、折り紙の魅力を伝える。 ①作品「鶴の箱」 ②作品「寿鶴」 ③作品「兜」(予定)
	 寿鶴
(8) お手玉作り教室 (予定)	
開催日	2月25日(日)
開催場所	体験学習室
募集人数	8名
講師	職員、資料館ボランティア
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。
(9) 龍ヶ崎とんぼ凧作り教室〔中止〕	
開催日	12月2日(土)
開催場所	体験学習室
講師	龍ヶ崎とんぼ凧研究会
内容	市民遺産の「龍ヶ崎とんぼ凧」を制作の教室を企画したが、応募者が2名と少数であったため、別会場で行なわれる教室を紹介して中止した。

4 文化活動の推進及び支援

(1)『常陽小学生新聞』「昔の道具とくらし」に寄稿 【県南版】 土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・守谷・つくばみらいの各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】 水戸市の公立小学校全児童に配布			
内容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を寄稿し、子どもたちに昔の道具とくらしに関心を促すとともに、館のPRを図った。		
タイトル	①鳶口、②サイレン、③消火弾、④消火器、⑤竿秤、⑥懐炉、⑦ハクキンカイロ		
	 令和5年5月号	 令和5年9月号	 令和5年11月号

(2)『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿	
内 容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を持っていただく目的で広報紙に寄稿。 今年度は「あこのころの龍ヶ崎」と題して、市制施行以来70年間の歩みをテーマに次の3話を掲載した。 ①昭和30年代の子どもたち ②昭和50年代「市歴史絵巻土岐公出陣武者行列」 ③昭和60年～平成初期
	
7月後半号掲載写真 「昭和30年代の子どもたち」	10月前半号掲載写真 「土岐公出陣武者行列」
	
	12月前半号掲載写真 「昭和60年～平成初期」
(3) 資料閲覧及びレファレンス	
期 間	通年
場 所	図書研究室、事務室
利用資料	【貸出資料】 『広報龍ヶ崎』第131号～184号、同第185号～206号、同第207号～229号、同第230号～252号、「竹内農場庭園設計図」パネル、「桜山古墳出土大刀」、小川芋銭揮毫扁額 〔写真・映像資料〕 西洋館竣工写真、DVD『名残の汽車を訪ねて』外、DVD「8mmフィルムに映る龍ヶ崎の記憶」、撞舞写真3点及び八坂神社写真1点、絵葉書「龍ヶ崎停車場の景」、絵葉書「撞舞」及び撞舞写真、舞男面及び衣装の写真 【閲覧資料】 山崎穰家文書「名主日記」、公図「龍ヶ崎町川余郷圖」、「桜山古墳出土大刀」、「長峰第39号墳鉄剣」、「龍ヶ崎ニュータウン埋蔵文化財調査報告書」「巡り地遺跡」外
(4) 小学校見学学習支援	
期 間	1月16日(火)～2月28日(水)(予定)
場 所	展示室、多目的室、エントランスホール
対 象 者	市内、近隣の小学校3年生
参加希望校	①市内:全11小学校 ②市外:ひたち野うしく、向台、阿見第二、君原、かわち学園 延べ18日、869名を受入れ予定
	
	前年度の様子
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の学習に合わせ、昔の道具の展示解説、「米作り脱穀関連用具」ビデオ上映、綿繰りや卓上機の体験等を行う。

(5) 学芸員実習生の受入		
期 間	8月22日(火)～27日(日)	 <p>展示実習「狐の子別れ伝説」</p>
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者	
内 容	大学から依頼のあった実習生を指導し、学芸員養成の支援を行った。 【実習受け入れ先】 上智大学、立正大学、二松学舎大学	
(6) 職場体験の受け入れ		
期 間	①7月25日(火)・26日(水)、②11月16日(木)・17日(金)、 ③11月21日(火)・22日(水)	
受入れ校	①竜ヶ崎一高附属中3名、②城西中2名、③城ノ内中3名、	
内 容	学校から依頼のあった生徒を指導し、資料館業務へ理解と関心を喚起した。	 <p>竜一附属中生徒の民具調査</p>
(7) ボランティア活動の推進及び支援		
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者	
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に、より身近な生涯学習の場として、親しむことができる人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア、龍ヶ崎市古文書同好会、市民環境部会道標調査	

5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集	
内 容	<p>資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。あわせて、郷土史関係図書充実を図るため自治体史、博物館発行図書の収集を行った。</p> <p>【収集資料】()内は寄贈者氏名 ○二十三夜講に係る文書及び写真等 4 点(岡嶋淳子)、○宮渕村に係る古文書 3 点(石津藤好)、○明治・大正期の葬儀等に関する古文書及び写真 7 点 15 点(岡嶋淳子)、○川北英司作油絵 1 点(鈴木祐子)、○白黒テレビ、電気掃除機、マイク、祭礼提灯各1点及び看板類 11 点(朝日出貴子)、○高松彰一郎関連書簡等 18 点(匿名)、○ディスク型蓄音機、レコードケース各 1 点及びレコード全 19 点(小貫進)、○前挽大鋸 2 点及び唐鋏 1 点(根本進)、○豊田町水神講資料(幾島敬司)</p> <p>【寄贈図書】(発行機関名) (茨城県) 茨城県教育委員会、茨城県教育財団、茨城県立歴史館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、土浦市立博物館、神栖市教育委員会、稲敷市立歴史民俗資料館、かすみがうら市歴史博物館、大洗町教育委員会、大洗町幕末と明治の博物館、常陸大宮市教育委員会、常陸大宮市文書館、東海村教育委員会、石岡市教育委員会、水戸市立博物館、下妻市ふるさと博物館、坂東市立資料館、笠間市教育委員会、日立市郷土博物館、常陽藝文センター、外 (千葉県)</p>

	<p>国立歴史民俗博物館、千葉県文書館、千葉県教育振興財団、印西市立木下交流の杜歴史資料センター、印西市立印旛歴史民俗資料館、松戸市立博物館、野田市郷土博物館、流山市立博物館、関宿城博物館、市川歴史博物館、成田市教育委員会、白井市郷土資料館外 (埼玉県)</p> <p>埼玉県歴史と民俗の博物館、埼玉県立川の博物館、埼玉県平和資料館、朝霞市立博物館、戸田市郷土博物館、幸手市教育委員会外 (東京都)</p> <p>港区教育委員会、港区立郷土歴史館、板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、豊島区立郷土資料館、世田谷区立郷土資料館、杉並区立郷土博物館、大田区立郷土博物館、品川区立品川歴史館外 (神奈川県)</p> <p>横浜市歴史博物館、平塚市博物館、大磯町郷土資料館、寒川町史編集委員会外 (その他)</p> <p>群馬県立歴史博物館、岩宿博物館、仙台市博物館、相馬市史編さん委員会、長野県立歴史館、伊那市教育委員会、静岡市歴史博物館、北海道博物館外</p>
(2) 資料の整理・保存	
内 容	<p>市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。</p> <p>また、収蔵資料及び展示資料の虫害・カビ害を防止するため燻蒸作業を実施した。</p> <p>実施期間:9月4日(月)～9月9日(土)</p>
(3) 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	<p>『龍ヶ崎市史 民俗編』(平成5年刊行)に掲載されている祭礼等追跡調査として、次の祭礼の間取りや現地調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○間取調査 <ul style="list-style-type: none"> ・川原代地区 <ul style="list-style-type: none"> 小屋の香取神社例祭 芳黄区のオピシャと大杉講 ○現地調査 <ul style="list-style-type: none"> ・長戸地区 <ul style="list-style-type: none"> 上塗戸区の鹿島神社祈念祭(オピシャ) ○建造物調査 <ul style="list-style-type: none"> ・馴馬町日枝神社の鳥居修理調査

令和6年度歴史民俗資料館事業計画(案)

1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

(1) 常設展示	
展示期間	令和6年4月1日(金)～令和7年3月31日(日)
展示場所	常設展示室、エントランス、屋外
内容	龍ヶ崎の歴史と民俗をテーマに時系列的に関連資料を展示。 エントランスには、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」のジオラマと視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。屋外には、市指定文化財4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稻栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。
(2) ボランティア作品展「布れあい作品展」	
会期	4月下旬～5月上旬
開催場所	企画展示室
内容	体験学習等で協働している資料館ボランティアと共催で、染色や機織りの活動成果(作品等)を展示。
(3) 非核平和推進事業展	
会期	7月
開催場所	企画展示室
内容	人事行政課と共催で、広島平和記念館や長崎原爆資料館が所蔵する原爆写真パネル等を展示して、戦争や被爆体験を次世代に継承して平和意識の高揚を図る。
(4) 永井正撮影「撞舞」写真展	
会期	7月末～8月
開催場所	企画展示室
内容	「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」に採択されて25年が経過した。そこで、多数のフォトコンテストで入賞している永井正氏が撮り溜めた撞舞の写真を展示し、撞舞を宣伝する。
	 <p>令和元年撮影</p>
(5) 複製品絹本著色十六羅漢像展	
会期	9月～10月
開催場所	企画展示室
内容	龍ヶ崎市唯一の絵画の重要文化財である十六羅漢像の複製品を展示公開し、文化財への理解を深める。
(6) 郷土作家展	
会期	11月
開催場所	企画展示室、多目的室、体験学習室
内容	市民文化芸術フェスティバル特別企画として、龍ヶ崎にゆかりのある作家の作品を展示紹介し、郷土作家を顕彰する。
(7) 収蔵品展「昔の道具とくらし」	
会期	1月～2月
開催場所	常設展示室、企画展示室
内容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の見学時期に合わせて、昔の道具類を展示し学習支援を行う。

2 普及事業の実施

(1) 郷土史講演会	
① 俺流に読む常陸国風土記Ⅴ	
開催日	6月
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講師	須藤 研氏(東京大学生産技術研究所名誉教授)
内容	前年度に独自の見解で読み解いた『常陸国風土記』の各郡の解説の続きとして、「香島郡」等をお話しいただく。
② 衣川(古鬼怒小貝川)旧河道の復元	
開催日	10月、11月
開催場所	多目的室
募集人数	各30名
講師	村岡基晴氏(元国土交通省利根川下流河川事務所指導官)
内容	常陸と下総の国境「きぬがわ」の成り立ちと利根川東遷事業による鬼怒小貝川の分離前の旧河道についてお話しいただく。
(2) 古文書講座「近世古文書を読む」(上級コース・初級コース)	
開催回数	上級コース…8回 初級コース…8回
開催場所	多目的室
募集人数	各コース30名
講師	盛本昌広氏、古文書同好会員、外
内容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い、くずし文字の解読方法を学び、あわせて、歴史用語や時代背景を解説する。
(3) 歴史散歩	
開催日	5月、10月、11月
見学コース	未定
募集人数	20名
内容	市民団体と協働して、郷土を再発見する目的で、北文間地区周辺にコースを設定し、豊田堰の設置経過や史跡や寺社を見学、解説する。
(4) れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日
開催場所	多目的室
内容	小中学生を対象に、「まんが日本昔ばなし」や「まんが日本史」等を上映し、アニメを通して歴史に対する関心を促進する。
(5) 撞舞コスプレ体験	
開催日	7月(3回)
開催場所	エントランスホール
内容	撞舞への理解を深めていただく機会として、寄贈いただいた子どもサイズの舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影を行う。
(6) 8mm フィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会	
開催日	8月と9月は第1土曜日、10月は第1土曜日とふれ愛広場
開催場所	多目的室
内容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムを活用したDVDの上映会。

3 体験学習教室の実施

(1) わら草履作り教室	
開催日	8月(2回)
開催場所	体験学習室、屋外
募集人数	各回6名
講師	職員、資料館ボランティア
内容	現在は触れることが少ない「わら」を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
(2) 注連飾り作り教室	
開催日	12月(2回)
開催場所	体験学習室、屋外
募集人数	各回6名
講師	職員、資料館ボランティア
内容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。
(3) 草木染め教室	
開催日	5月、8月、9月(計3回)
開催場所	体験学習室、屋外
募集人数	各回8名
講師	職員、資料館ボランティア
内容	ハンカチとストールを素材に、春は桜の枝葉、夏は藍の生葉、秋はススキ等を用いて日本の伝統的な染めの技法を学ぶ。
(4) 折り紙教室	
開催日	6月、11月、3月(計3回)
開催場所	多目的室
募集人数	各回8名
講師	折り紙伝承者
内容	装飾性のある和紙を使って作品を折り、折り紙の魅力に触れる。
(5) 機織り伝承教室	
開催日	毎週火曜・木曜日(通年)
開催場所	体験学習室、エントランスホール
講師	資料館ボランティア
対象者	資料館ボランティアの希望者
内容	高機の活用と機織りの技術を習得し、その技術を伝承することを目指す。また、館内で実演も行う。
(6) 機織り体験教室	
開催日	3月(8回)
開催場所	体験学習室、エントランスホール
募集人数	各回3名
講師	資料館ボランティア
内容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、技術伝承の一端を学ぶ。
(7) 簡単機織り教室	
開催日	8月(2回)
開催場所	エントランスホール
募集人数	各回10名
講師	職員、資料館ボランティア
内容	卓上の機織り機を用いて、不要になった布から新しく織物を織る「裂き織」を体験し、布のリサイクル技法を学ぶ。

(8) 龍ヶ崎とんび凧教室	
開催日	12月
開催場所	体験学習室
募集人数	8名
講師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内容	市民遺産である「龍ヶ崎とんび凧」を制作し、その魅力と凧揚げの文化を伝承する。
(9) お手玉作り教室	
開催日	2月
開催場所	体験学習室
募集人数	8名
講師	職員、資料館ボランティア
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。

4 文化活動の推進及び支援

(1) 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿	
内容	所蔵している昔の道具の写真と解説文を寄稿し、子どもたちに昔の道具とくらしへの関心を喚起するとともに、館のPRを図る。
(2) 『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿	
内容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を喚起する目的で、様々なテーマの話を寄稿する。
(3) 資料閲覧及びレファレンス	
場所	図書研究室、事務室
内容	資料に対するレファレンスを行い、閲覧対応及び貸出を行う。
(4) 学芸員実習生の受入	
期間	1週間程度(8月)
対象者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者
内容	大学の依頼のあった実習生を指導し、学芸員養成の支援を行う。
(5) ボランティア活動の推進及び支援	
対象者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者
内容	資料館や関連事業について精通した人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進する。
(6) 古い道具と昔のくらしの学習支援	
期間	1月～2月
対象者	市内及び近隣小学校
内容	小学3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」の見学学習に合わせ、昔の道具の展示解説、ビデオ上映、機織り等の実演し、学習支援を行う。

5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集	
内容	郷土史料・民俗資料の収集を行う。また、自治体史や博物館発行図書の収集を行い、郷土史関係図書の充実を図る。
(2) 資料の整理・保存	
内容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続する。収蔵庫資料や展示資料の虫害、菌害を防止する燻蒸業務を行う指標とするため、環境測定及びトラップ等を設置してモニタリング調査を行う。
(3) 市内の祭礼や年中行事の調査	
内容	『龍ヶ崎市史 民俗編』(平成5年刊行)に掲載されている祭礼や年中行事の中で、追跡調査が行われていない祭礼を中心に聞き取り調査や現地調査を行う。

議案第 3 号

○ 中期事業計画の進捗状況

No.	担当課	事業No.	事業名	事業概要	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容
1	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		小学生向け郷土学習シートの作成 (市の歴史的・文化的資源に対する児童・生徒の理解を促進させる事業)	主に郷土学習を行う小学3年生をターゲットとして、市内の名所旧跡を学ぶことのできる郷土学習シートを作成するほか、各所にスタンプを配置し、スタンプラリーができる環境を作ります。	—	現行の副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を参考に学習シートを作成中。改訂版が次年度に発行されることから学習シートの内容を再確認する必要がある。	刊行された改訂版の副読本を参考に学習シートを作成中。 スタンプの配置は課題が多く中止。	龍ヶ崎発見フォトラリー対象施設の解説シートを作成。QRコード等を活用したアプリのスタンプラリー導入を検討中。	市観光物産協会主催の文化財9か所を巡る「スマホdeスタンプラリー」に参画。 12/18⇒2/29で開催中。次年度以降も文化財を巡る企画を検討する。
2	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		市内の祭礼・年中行事調査の悉皆調査【市長ブレイクダウン】	かつての市史編さん事業で調査された祭礼や年中行事の現状を調査し、記録保存に努め、それらを市民に向けて明らかにし、関心を高めていきます。	市史掲載の祭礼を中心に37件の確認を行い、うち2件は現地調査を行った。なお、平成23年から同30年までに30件分は調査済である。	7件の祭礼の聞き取り調査を行った。しかし、コロナ禍であり対面での聞き取り調査が難しく、祭礼自体も中止となっており、進捗していない。	12件の祭礼について、聞き取りや現地調査を行った。コロナ禍から祭礼自体を廃止の報告も1件あり、	19件の祭礼の聞き取りや現地調査を行った。コロナ禍から祭礼を省略している事例が多く、さらに組織に解散事例もあり追跡調査を継続する。	川原代町の小屋区と芳黄区の祭礼の聞き取り調査を行い報告書を作成。引き続き市域の祭礼等の追跡調査を行う。
3	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		文化財・市民遺産等案内ボランティアの育成	文化財や市民遺産等を解説し案内できる市民ボランティアを養成する。	—	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して文化財や市民遺産等を解説し案内できる人材を養成する。	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を計3回実施。	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を計4回実施。	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を計3回実施。
4	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		市史編さん事業で整理・保管されている古文書の解説と活用	市史編さん事業で整理・目録化がなされた古文書のうち、未解説のものを解説し、明らかになっていない歴史や民俗等を明らかにします。	—	横町伊勢屋文書「諸御用留帳」を古文書講座のテキストとして解説。古文書同好会に資料提供して、宮瀬町豊崎家文書「御用留」の解説を進めている。	古文書の解説。	「諸御用留帳」から天保2年の火消人足割当を紹介展示。豊崎家文書は、安政2年から11年間分の「御用留」の筆写が終了。	古文書同好会に資料提供した豊崎家文書「御用留」(安政2年～明治5年)の筆写が終了。今後も資料提供を継続し解説を進める。
5	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		埋蔵文化財収蔵庫の建設と考古資料の整理・活用	新たに埋蔵文化財収蔵庫を建設する計画を立てる。建設後は龍ヶ崎小学校敷地内収蔵庫で保管している考古資料を移転。継続的に資料の整理を進め、展示等に活用します。	—	学校給食センターの再利用を検討し、埋蔵文化財収蔵庫としての利用が可能であることから施設の再利用を申請。	学校給食センター再利用の調整。結果次第で改修工事の設計等を検討、又は新築工事等を見据えた設置場所等の検討。	2019年発掘の仲原遺跡の遺物を展示。埋文収蔵庫の屋根を修繕。新築については公共施設中期計画で進行管理する。	2022年発掘の馬場台第2遺跡外の遺物を展示。埋文収蔵庫は、新築を公共施設中期計画で進行管理する。
6	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		旧北文間小学校跡地活用に合わせた長興学校創設者顕彰等の展示計画の作成【市長ブレイクダウン】	旧北文間小学校跡地活用に合わせ、元校舎の1室を展示室とし、長興学校創設者の阿曾古登の事績等を紹介するコーナーを設ける。	展示資料の調査・整理 展示計画の策定	新資料「飯塚古登へ褒章授与ノ件(国立公文書館蔵)」の調査。褒章などの所在確認し、借用交渉中。	借用できた褒章や新資料の調査結果を加えた展示概要書を作成。	4月16日にスポーツサロン北文間館が開館。これに合わせて、長興学校創設者顕彰等の所縁の資料を展示公開。	資料の展示状況等を確認。展示物の劣化防止の為、写真展示等に変更する。

別紙1

龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(令和元年度～令和5年度)

令和6年1月4日現在

年 度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	開館日数	月平均	日平均
R5	1,239	1,244	1,344	1,327	1,757	1,272	1,694	2,190	1,171				13,238	227	1,103	58
前年度差	17	125	190	△ 309	△ 227	△ 238	△ 273	406	△ 389				△ 5,846	△ 40	△ 487	△ 13
R1(コロナ前)との差	△ 475	△ 459	△ 163	△ 443	△ 1,671	△ 109	△ 947	△ 263	△ 346				△ 10,392	△ 53	156	18
R4	1,222	1,119	1,154	1,636	1,984	1,510	1,967	1,784	1,560	1,321	2,038	1,789	19,084	267	1,590	71
R3	1,162	1,226	1,020	1,451	339	291	2,002	1,827	1,052	915	728	1,165	13,178	240	1,098	55
R2	0	115	855	1,112	1,358	1,268	1,607	1,377	986	538	675	1,472	11,363	280	947	41
R1	1,714	1,703	1,507	1,770	3,428	1,381	2,641	2,453	1,517	2,506	2,734	276	23,630	308	1,969	77
合 計	5,337	5,407	5,880	7,296	8,866	5,722	9,911	9,631	6,286	5,280	6,175	4,702	80,493	1,322	6,708	302
平 均	1,067	1,081	1,176	1,459	1,773	1,144	1,982	1,926	1,257	1,056	1,235	1,567	16,099	264	268	61

開館以来の延べ数	
入館者数	795,240
開館日数	9,889
日平均	80

令和5年度	展 示 名 称	入館者	開催日数	日平均
4/18～5/7	資料館ボランティア作品展「布れあい染織展」	1,066	20	53
5/27～6/25	「松田正平と川北英司の作品展」	1,346	26	52
7/1～17	長崎原爆被災写真パネル展	671	15	44
8/1～9/3	馬場台第2・八幡作遺跡発掘調査出土遺物展	1,965	30	65
9/23～10/22	絹本著色十六羅漢像複製公開展	1,455	26	55
10/28～11/12	郷土作家展「永井正」写真展	1,675	14	119
1/16～3/24	収蔵品展「むかしの学校」		60	

別紙2

龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏名	選出区分	備考
さいが 雑賀 ふみひと 史	学校教育関係者 (市立馴柴小学校教務主任)	新規
あきやま 秋山 たくや 卓也	学校教育関係者 (市立長山中学校教頭)	継続
おの 小野 たけと 威人	学校教育関係者 (県立取手松陽高等学校教頭)	継続
さかいり 酒入 ようこ 陽子	学校教育関係者 (流通経済大学教授)	継続
つつみ 堤 としあき 利明	社会教育関係者 (県南生涯学習センター)	継続
よしぼ 由波 としゆき 俊幸	学識経験者 (茨城県立歴史館学芸課長)	新規
さとう 佐藤 まさよし 正好	学識経験者 (市文化財保護審議会委員)	継続
つかもと 塚本 ゆたか 裕	学識経験者 (龍ヶ崎市商工会長)	継続
いいじま 飯島 すすむ 進	学識経験者 (龍ヶ崎市観光物産協会会長)	継続
ぬまた 沼田 くみこ 公美子	公募の市民	継続

任期:令和5年10月1日から令和7年9月30日まで